

---

# 卒業

ぶたこ

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

卒業

### 【著者名】

ぶたこ

N2533D

### 【あらすじ】

卒業式の日、伝えられずに終わった恋。忙しさの中で、忘れたつもりだった。偶然、再会するまでは・・・。

「あ、ねえ！！」

「あ？？ なに？」

振り返ったあいつに、私は伝えられなかつた。

「・・・・・元氣でね。」

「おー」

本当は伝えたかつた。

(好きだよ)

心の中でつぶやいて、手を振つて別れた。

あの卒業式から、もう3年・・・・。

働いていると、時間がたつのなんてあつという間だ。

社会人なんて、私にやつていけるのかなあなんて心配した。  
気がついたら、何とかなるもんと、早3年。

子供の頃は、「大人」つてものは「もっと大人」だと思ってた。  
だけど、ここに居る私は結局たいして変わつてない気がする。

(今日も疲れた・・・)

特別忙しいわけでも、仕事に不満があるわけでもない。  
ただ、変化のない毎日が、少したいくつで疲れる。

恋でもしてれば、違うんだろうけど。

それなりに、恋愛はしてきたつもり。  
だけど、長続きしない。

何がが違う。そう感じて、別れてしまうのだ。

帰り道、見覚えのある顔に出会った。

「・・・・・あ」

あの日から、会つこともなかった。

それまでは、暇があれば遊んでたのに。  
連絡を取ろうと思えば、いつでも取れたのに。  
勇気がなくてできなかつた。

そのまま、連絡が来ることもなく、偶然会つこともなかつた。

向こうにも、私に気がついて立ち止まる。

「ひさしぶり」

あの頃と変わらない笑顔で、声がかけられる。

「ひさしぶり」

私も笑顔で返す。

懐かしい感情が、胸の奥で動き出した気がした。

「元気だつた?」

「おう。お前変わってないな」

「ちよつとおー！ 少しは大人っぽくなつたでしょ？」

くだらないやり取り。  
変わらない笑顔。

ずっと隣にいたくて、気持ちをずっと隠してた。  
伝えたら、この笑顔を私に向けてもらえないかもしけなかつたか  
ら。

「ねえ、誰？」

彼の隣から、少し不機嫌な声。

組まれた腕に、すこし胸が痛む。

「学生の時の友達だよ。」

「ふうん。」

彼女が、私に軽く会釈する。

「彼女？」

「まあね」

照れた笑顔に、また胸が痛む。

すこしの沈黙。

「・・・・・元気でね。」

「おうー。」

そう言つた後、彼が少し噴出した。

「なんか、こんなの前にもあつたな。」

「そうだけ？」  
私も、少し笑う。  
本当に、いやんと覚えてる。

「あの時・・・・・」

思い出を手繕るよつこ、彼が尋ねる。

「本当に、他に何か言おうとした？」

ズキッとした。

気がついてたんだ・・・。

「あの時・・・私・・・」

伝えてしまいたい。

そう思つて、出しけけた言葉。

でも、ふと見ると、隣の彼女がいぶかしげにこちらを見ていた。

「そうだけ？ 忘れちゃった？」

造り笑顔。

また、心が痛む。

「じゃあね。」

手を振つて、彼らとすれ違つ。

少しして、知らずに泣いてたことに気がついた。

(ああ、そつか)  
私は。

今までずっと、彼のことを思っていたんだ。  
あの日、勇気がなくて伝えられなかつた。  
あの日から、忘れられなかつた思い。

振り返えると、小さくなつた二人の姿が見えた。

「本当はね。

ずっと、好きだつたよ。サヨナラ。」

小さくつぶやく。

きっと、もう大丈夫。  
忘れられる。

また、私は歩き出した。

もう、涙は出でていなかつた。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2533d/>

---

卒業

2010年10月12日00時32分発行